

## タイと福島の懸け橋になりたい タイ文化を福島で広める

タイ舞踊、タイ式マッサージ、タイ料理など日本でも人気のあるタイ文化。そこにはお客様や大切な人への心配りを忘れない「おもてなし」の心があります。そんなタイ文化を代表する、果物や野菜に彫刻を施すタイカービングを通して、福島でタイ文化の普及に努めている竹田有理さんにお話を伺いました。

### 竹田 有理さん

夫の3年間のタイ赴任に同行し、タイカービングをはじめ、タイ式マッサージ、タイ料理などを修得。帰国後は、福島市内を中心にタイカービングやタイ料理の教室を開いている。

### タイカービングの魅力は

タイカービングの魅力は、専用ナイフ1本で始められ、果物や野菜など日常にあるものが世界に1つだけの特別なものになることです。タイでは、お客様を迎える際のウェルカムボードのような意味合いもあり、「これほどの気持ちであなたを待っていました」というメッセージになります。

タイでは学校の家庭科の中でも教えており、出来る方は多いです。

### タイへの思いを教えてください

私にとってタイは「第2の故郷」です。タイの人がよく使う言葉に「マイペンライ」があり、日本語にするといろいろな意味になるのですが、例えば、何かいいことをしてお礼を言われた時「マイペンライ」(どういたしまして)。仕事をストップしてお年寄りに親切にしたり子どもを可愛がっても、待たされている人も笑顔で「マイペンライ」(まあいいか)。何か問題が起こったとき「マイペンライ」(大丈夫だよ)、不安そうにしていると「マイペンライ」(心配ないよ)となぐさめてくれ、問題が大きくなった時は「マイペンライ」(仕方ないよ)と元気づけてくれます。カービングを習い始めた頃うまくいなくても、体調が悪くて病院に行った時も、カービングの先生やお医者さんにこの言葉を言われて安心しました。

穏やかで優しい人がとても多くて、タイにいととも心が安らぎます。今でも、時々タイにまた「帰りたい」と思ってしまうです！



◀カービングを施したリンゴ

### 福島で教室をはじめようとしたきっかけは

東日本大震災直後の平成23年3月17日に帰国しました。タイの友人達の中には心配して「帰らないで！」と泣く人もいました。

でも、帰って来たからにはタイにいる友人達に福島で震災に負けず元気に過ごしていることを見て欲しかったし、うつむきがちな福島の人たちに少しでも気持ちを前に向けて欲しい、そのために何ができるだろうと考えていました。

そんな時に、「タイのことを話してみないか」と知人から誘われ、その思いと機会が重なりました。それから少しずつ、タイカービングの紹介やタイ文化についてお話しています。習っていた時は、まさか自分が教えるなんて思っていなかったんですけどね。

### 今後の夢や抱負を聞かせてください

教室では、初めての人でも参加しやすいように福島で手に入りやすい材料で講習するなど、「気軽に、手軽で、楽しい」教室を心がけています。

教室に参加してくれた人は、タイをより身近に感じるようになり、実際にタイに旅行に行ったときには、旅行をより楽しめるようです。また、福島に来たタイ人に話しかけてみたという人もいました。

いつも福島にいるタイ出身の友人と、福島とタイの友好のために何ができるかを話合っています。

自分ができることをコツコツ重ねながら、タイの文化を福島に伝え、これからもタイとの懸け橋になっていきたいですね。



▲カービングを施した石鹸